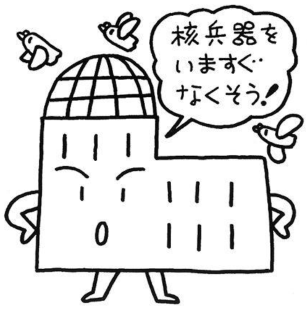
私たちは日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます

岡山県原水協通信

2018年 12月 6日No461
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526(F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

12月度（109回目）の6・9行動をおこないました。

　岡山県原水協は１２月６日、今年最後の１２月度（第１０９回目）の６・９行動をおこないました
　岡山駅西口さんすて前の行動には県労会議、自治労連、高教組、新婦人、県人権連、中尾代表理事、事務局から８人が参加しました。前日までの暖かさが嘘のような冷たい雨と風が吹く中での行動でした。平井事務局長は「７３年前の８月６日、と９日、広島・長崎に落とされた２発の原子爆弾でその年のうちに２１万人が殺されました。いま地球上には１万４千発の原爆が貯蔵配備されています。昨年核兵器禁止条約が国連で採択されました。国連加盟国の１２２カ国が賛成しました。世界の流れは禁止条約に基づく核兵器のない世界の構築です。禁止条約は５０カ国の批准で発効します。すべての国の政府が禁止条約を批准することを求める署名にご協力ください」と訴えました。
　昼休みの短時間の行動でしたが１２筆の署名が寄せられました。



西日本豪雨被災者にちひろカレンダーを届けよう

自治労連鷲尾委員長が街頭で訴え

　真備町２６６戸、総社市４５戸の仮設住宅で年越しされる被災者に愛と平和のちひろカレンダーをお届けし、少しでも明るい気持ちで新年を迎えていただけるよう、県原水協はちひろカレンダー被災者贈呈キャンペーンを行っています。
　１２月４日には総社市の２か所の仮設住宅４５戸にお届けしました。９日には真備町にある６カ所の仮設を訪問します。真備町の行動には２７名がボランティアで参加いただく予定です。この中には自治労連熊本県本部や大坂から参加される方もいらっしゃいます。
　１２月６日の６・９行動では自治労連県本部鷲尾委員長がちひろカレンダーを署名版に取り付け、「被災者にカレンダーを贈りましょう」と募金を呼びかけ１１００円の募金がよせられました。